

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。



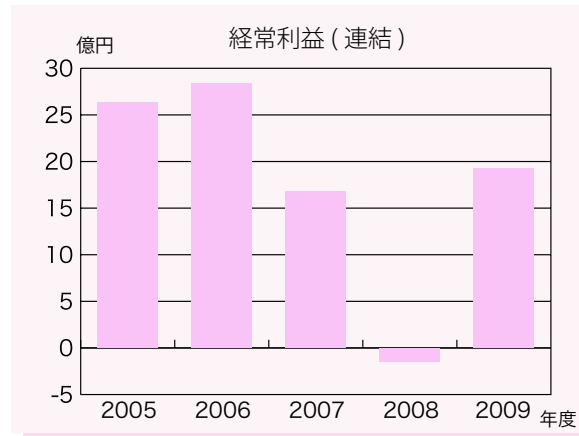
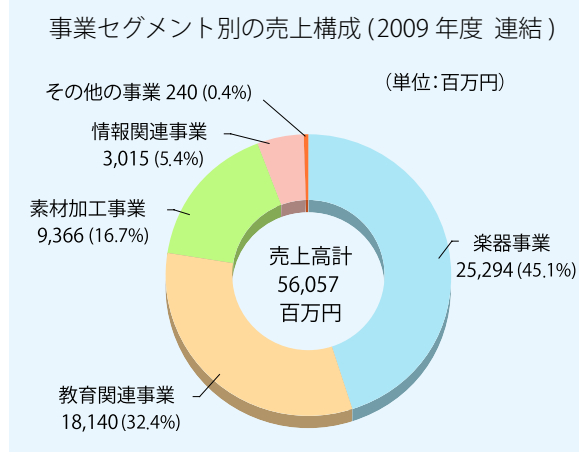
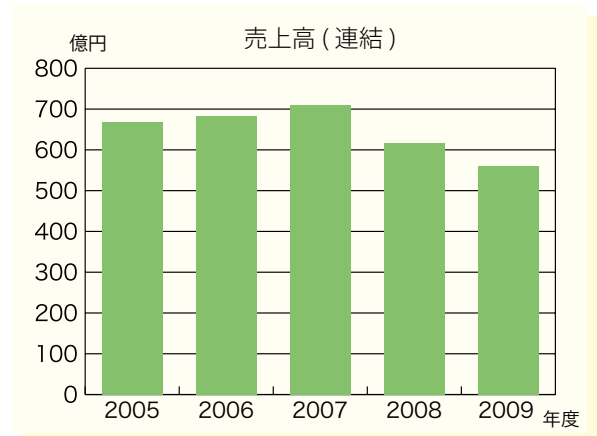
環境社会報告書 2010

カワイグループの事業と会社の概要

社 名 株式会社河合楽器製作所
 本 社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
 創 立 1927 年（昭和 2 年）8 月 9 日
 設 立 1951 年（昭和 26 年）5 月 15 日
 代表者 代表取締役社長 河合弘隆
 資本金 6,609 百万円（2010 年 3 月末現在）

年 度		2007 年度	2008 年度	2009 年度
売上高 (百万円)	単独	61,308	52,372	47,241
	連結	71,029	61,593	56,057

年 度		2007 年度	2008 年度	2009 年度
従業員数 (名)	単独	1,878	1,775	1,648
	連結	2,888	2,797	2,851



当社グループの主な事業

楽器事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務

- 国内での販売
 - 全国直営店・販売代理店
 - (株) ディアパソン 他
- 海外での販売
 - カワイアメリカコーポレーション
 - カワイヨーロッパ GmbH
 - カワイカナダミュージック Ltd.
 - カワイオーストラリア PTY.Ltd.
 - 河合貿易（上海）有限公司
 - カワイ UK Ltd.
 - 海外販売代理店及び商社
- 楽器の調律・修理
 - 調律サービス部
- 楽器の国内での製造
 - (株) 河合楽器製作所 竜洋工場
 - メルヘン楽器 (株)
- 楽器の海外での製造
 - ミディミュージックセンター Inc.
 - PT. カワイインドネシア
 - 河合楽器（寧波）有限公司



教育関連事業

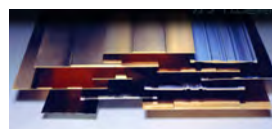
音楽教室・体育教室の運営、教材販売・楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売



素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造
 - カワイ精密金属 (株)
- 自動車部品用材料の製造
 - (株) カワイハイパーウッド
- 防音室・音響部材の製造
 - (株) カワイ音響システム



情報関連事業

OA 機器の販売・保守及びコンピュータソフトウェアの開発・販売

- (株) カワイビジネスソフトウェア

その他の事業

- 金融関連事業、保険代理店事業
- (株) カワイアシスト

編集方針

内 容

カワイグループにおける環境活動側面に加え 2003 年版からはコンプライアンス等社会的側面を掲載し企業における社会的責任の視点を充実させ 2004 年版からタイトルも「環境報告書」から「環境社会報告書」に変更いたしました。

なお経済側面につきましては概要を前頁に記載しました。

カワイグループの事業内容の詳細は当社ホームページをご参照願います。

対 象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地域住民・N G O、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2010 年版について

- ・ 出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。
- ・ 事業活動にともなう環境配慮につきまして環境側面ごとにまとめました。
- ・ 関連資料は資料編にまとめました。
- ・ インターネット環境の普及や紙資源の節約を考慮し、2009 年版から、紙媒体でなく、ホームページ上での公開とさせていただいております。

報告対象期間

- ・ 2009 年度（2009 年 4 月～ 2010 年 3 月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては 2010 年 4 月以降の最新情報も含んでいます。
- ・ 集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ・ (株) 河合楽器製作所 本社／竜洋工場
- ・ メルヘン楽器 (株)
- ・ カワイ精密金属 (株)
- ・ (株) カワイハイパーウッド
- ・ (株) カワイ音響システム

〈 目 次 〉

	ページ
カワイグループの事業と会社の概要	1
編集方針	2
社長コミットメント	3
カワイの経営の理念・行動指針	
カワイグループのあゆみ	4
環境報告	
カワイの環境への取り組み	5
地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織	
環境経営	6
2009 年度の環境目標と実績	
事業活動にともなう環境配慮	7
地球温暖化の防止	
廃棄物削減・再資源化	9
グリーン調達	10
環境配慮製品	11
環境パフォーマンス	12
マテリアルバランス	
社会性報告	
経営計画	13
コーポレート・ガバナンス	14
株主・投資家の皆様とともに	16
お客様との関係	17
社会貢献活動	
コミュニケーション	19
地域社会との共生	
情報発信	21
資料編	
資料	22
環境負荷サイト別一覧	
第三者意見	23
アンケートのお願い	24

カワイホームページアドレス	
カワイホームページ	http://www.kawai.co.jp/
環境への取り組み	http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp
IR サイト	http://www.kawai.co.jp/ir/
健康事業	http://www.kawai.co.jp/kenkou/
文化貢献事業	http://www.kawai.co.jp/company/activity/culture.asp
教育事業	http://www.kawai.co.jp/school/
カワイ音楽教室	http://www.kawai.co.jp/school/music/

チャレンジの時

初代社長河合小市は、熱い夢を胸に、自らの天分と情熱のすべてをピアノづくりに捧げ、今日のカワイの礎を築きました。二代目社長河合滋は、小市の技術を継承するのみでなく、その技術を量産化の中で実現し、国産ピアノの普及、拡大に尽力し、さらに世界一のピアノづくりの実現のために竜洋工場に「原器工程」を設置し、コンサートピアノ「EX」を誕生させました。近年その「EX」は「SK-EX」に進化を遂げ、世界の音楽コンクールにおいてさらに高い評価を受けております。そして今、新しい時代に向けて私たちは、音楽の領域を超え、より広い分野で新たな感動づくりをめざしチャレンジしてまいります。

現在、当社グループは2010年4月より第3次中期経営計画（2010年4月～2013年3月）として、

1. 成長市場へ向けたチャレンジ
2. 基盤事業の構造改革による収益性向上

を基本方針とした、7つの重点戦略（①グローバルブランドの確立 ②中国市場で総合力を発揮 ③国内市場の効率的販売体制構築 ④ピアノ世界販売の拡大 ⑤さらに魅力ある音楽教室をめざす ⑥全年齢の健康づくり支援事業拡大 ⑦金属事業の生産体制強化）への取り組みをスタートしております。

また、同計画においては、長期ビジョンとして、

- ・限りある資源を有効活用し、地球にやさしいものづくりをめざす
- ・幼児から高齢者まで、心の豊かさと体の健康づくりを支援
- ・グローバルブランドの確立をめざす

を策定し、環境面では、楽器用木材資源の有効活用、木材に代わる素材の活用、防音室による快適音環境の提供、健康面ではリトミック教育、大人の音楽教室、子供から高齢者までの体育・健康教室、介護予防教室などの事業分野の伸長を図ってまいります。

また、当社グループは「環境への配慮」として業界に先駆け、生産部門ではいち早くISO14001、エコアクション21を導入し、CO₂削減、廃棄物削減に取り組んでまいりました。さらに、インドネシアでの植林活動等、地球規模の社会的な課題にも取り組んでおり、今後もこれらを継続して取り組んでまいります。

現在の経済環境、地球環境は非常に不安定な要素を多く抱えており、混沌とした時代が続いておりますが、当社は皆様の生活、文化、環境に少しでも貢献できる企業として努力を続けてまいります。

今後とも皆様のご理解とご協力をいただけますよう、この環境社会報告書がステークホルダーの皆様とのコミュニケーションツールとなれば幸いに存じます。どうぞ忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。



代表取締役社長

河合弘隆

カワイの経営の理念・行動指針

創業以来私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきた。

社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定するものである。

経営の理念

創造性豊かな好感度企業をめざして

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切に、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切に、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

KAWAI

1906年4月1日創設

カワイの原点は音楽
社会貢献

顧客志向性
企業倫理

新しい時代への対応
持続社会

闊達な企業風土の創造
社会的責任

経営の基本的な考え方と方向性

積極果敢

自己の向上

挑 戦

地球環境保護活動

継 続

カワイグループ全体の
活動の根拠をなすもの

カワイグループの事業沿革と環境への取り組みの歴史を記載しました

事業沿革

環境活動

1920	1927	河合小市 河合楽器研究所を創立 ピアノの製造・販売を開始
	1929	河合楽器製作所と改称
	1935	合名会社河合楽器製作所と改組
1950	1951	株式会社河合楽器製作所と改組
	1955	河合滋 社長に就任
1960	1956	カワイ音楽教室を創設
	1961	ピアノ組立工場として舞阪工場完成
	1963	アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
	1966	カワイ音楽教室中央講師養成所 (カワイ音楽学園) を創設
	1967	カワイ体育教室を創設
1970	1976	西ドイツにカワイドイツランド GmbH を設立
	1979	西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立
1980	1980	金属圧延加工のカワイ精密金属 (株) を設立
	1980	グランドピアノ専門工場として竜洋工場完成
	1981	オーストラリアにカワイオーストラリア PTY.Ltd. 設立
	1984	(株) カワイビジネスソフトウェア設立
	1988	アメリカにミディミュージックセンター Inc. を設立
	1989	河合弘隆 社長に就任
1990	1991	マレーシアにカワイアジア マニファクチュアリング SDN.BHD を設立
	1996	新経営の理念、行動指針制定
	1997	カワイ精密金属 (株) 浜松事業所 ISO9002 認証取得
	1998	(株) カワイハイパーウッド設立
	2001	インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立
	2002	中国に河合貿易 (上海) 有限公司を設立
	2002	カワイ倫理規範、倫理行動規準制定
2000	2004	中国に河合楽器 (寧波) 有限公司を設立
	2005	竜洋工場 ISO9001 認証取得
	2007	創立 80 周年 電子ピアノ組立を行うカワイインドネシア第 3 工場設置 中国上海市内にカワイ音楽教室第 1 号教室開設
	2008	河合楽器 (寧波) 有限公司 ISO9001 認証取得 PT. カワイインドネシア第 3 工場 ISO9001 認証取得
	2009	国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合 PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場 ISO9001 認証取得

1975	生産技術部内に公害課設置 カワイの環境元年
1978	生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理 をスタート
1980	『森の中の緑の工房』 竜洋工場完成
1994	地球環境憲章制定 シンボルマーク決定
1994	全社的な推進組織の地球環境委員会発足
1996	環境推進室 に名称変更
1997	竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
1997	舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞
1998	舞阪工場で ISO14001 認証取得
1998	竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として 中部通商産業局長表彰
1999	メルヘン楽器 (株) で ISO14001 認証取得
2001	タイプIII環境ラベル「製品環境宣言」JEMAI 開示
2001	舞阪工場「危険物優良事業所」表彰
2003	工場統廃合によるインフラの整備
2003	木屑ボイラーの廃止
2005	竜洋工場が緑化優良工場として (財)日本緑化センター会長奨励賞 受賞
2006	河合楽器が静岡県緑化推進協会から「緑の募金」の 感謝状
2007	木材調達ガイドラインの開示 (株) カワイハイパーウッドでエコアクション 21 認証取得
2008	「カワイの森」インドネシア植林事業開始 産業廃棄物適正処理推進功労者に対する 静岡県知事褒賞 受賞
2010	メルヘン楽器 (株) でエコアクション 21 認証取得

公害防止

環境保全

環境経営

カワイ地球環境憲章に定める基本理念、行動指針を具体化した環境方針に基づいてオールカワイの環境推進組織により環境保全活動を展開しています

地球環境憲章

カワイは素晴らしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。

世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。



地球環境憲章

地球と人にやさしい企業をめざして

《基本理念》

「感動製造業」をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。

また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

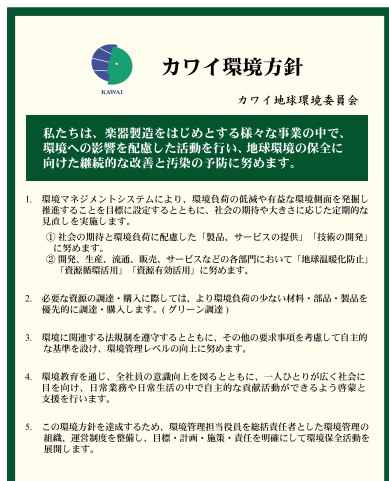
豊かな人間性や快適な生活環境の創造を
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

《行動指針》

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 製品の研究開発・設計段階からリサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
5. 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

カワイ環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

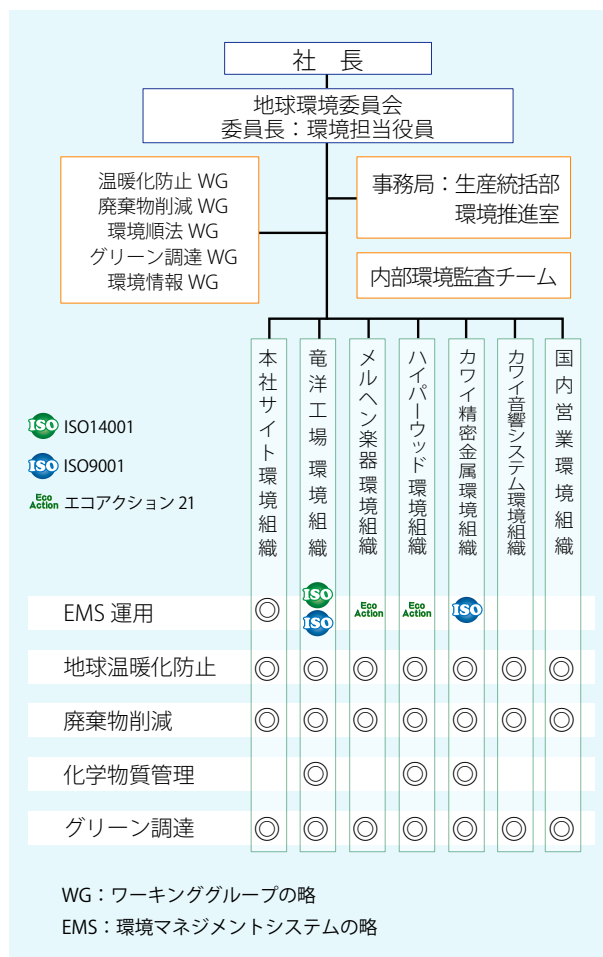


詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp>

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目的・目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月には各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しております。



環境マネジメントシステム (EMS)

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくシステム。国際規格のISO14001、環境省が策定したエコアクション21などがある。

環境監査

当社では、ISO14001規格で要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため、定期的に「外部審査」「内部環境監査」を実施しています。

外部審査

認証取得サイトでは、認証機関による毎年のサーベランス審査および定期毎の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

CO₂ 排出量・廃棄物量ともに削減目標を達成しています

2007 年度から 2009 年度の 3 カ年計画

地球温暖化防止を重点課題と考え、社会へより貢献するために、2009 年度の CO₂ 排出量を 2006 年より 15%削減することを目標としております。

また、資源の循環活用に関しては、生産効率改善、不良率削減に取り組み、不良として廃棄される廃棄物量の削減を図ります。主製品の原料である木材、金属の廃棄物のリサイクル・処理や売却に取り組み、廃棄物量を 2006 年より 15%削減することを目標としております。

3 カ年計画の目標（基準年：2006 年度）

地球温暖化防止	CO ₂ 排出量	15% 削減
資源循環活用	廃棄物量	15% 削減

2009 年度の環境目標と実績

各環境組織の主な目的・目標に「生産効率向上」「不良率削減」を掲げ、活動に取り組んでまいりました。その結果、3 カ年計画の最終年の 2009 年度の CO₂ 排出量は 2006 年に比べて 19% の削減、廃棄物は 2006 年度に比べて 61% 削減となり、CO₂ 排出量、廃棄物量ともに目標を達成することができました。

	指標	2008 年度	2009 年度		評価
		実績	目標	実績	
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量（総量）	-21%	-15%	-19%	◎
	エネルギー量原単位	-10%	—	2%	—（参考）
	電力量原単位	-9%	—	4%	—（参考）
資源循環活用	廃棄物排出量（総量） （埋立・焼却）	-44%	-15%	-61%	◎
	廃棄物排出量原単位 （埋立・焼却）	-32%	—	-53%	—（参考）

（2006 年度基準） ◎ 達成

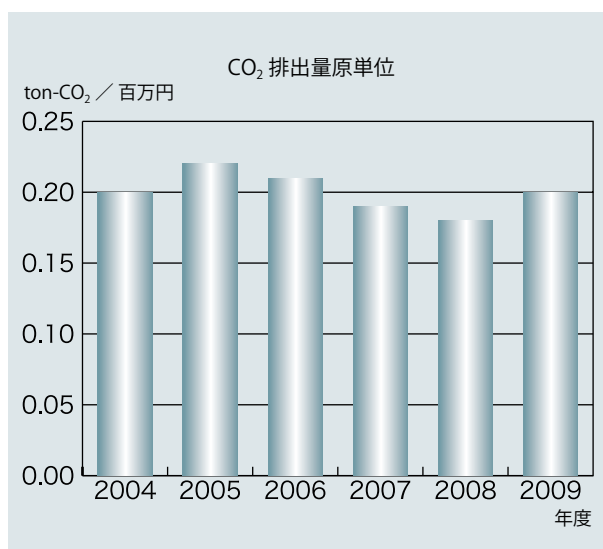
環境経営指標

当社では、環境経営指標として CO₂ 排出量を当社グループの全売上高にて除した指標を用いています。2005 年度より毎年 10kg-CO₂/百万円程度減少していましたが、2009 年は売上高減が影響し 2006 年の水準に近づいてしまいました。

また、廃棄物に関して、埋立、焼却処理を行う量は原単位で 2009 年度は 1.81kg/百万円となり、2006 年度に比べて 47% にまで削減しています。

指 標	単 位	基準年	前年度	当年度	基準年比
		2006	2008	2009	【%】
CO ₂ 排出量原単位	ton-CO ₂ /百万円	0.21	0.18	0.20	95%
エネルギー量原単位	GJ/百万円	3.48	2.94	3.56	102%
電力量原単位	GJ/百万円	2.91	2.52	3.03	104%
廃棄物原単位 （埋立・焼却）	kg/百万円	3.83	2.39	1.81	47%
廃棄物原単位 （リサイクル）	kg/百万円	24.08	16.93	16.01	66%

※原単位：売上高 100 万円に対する指標



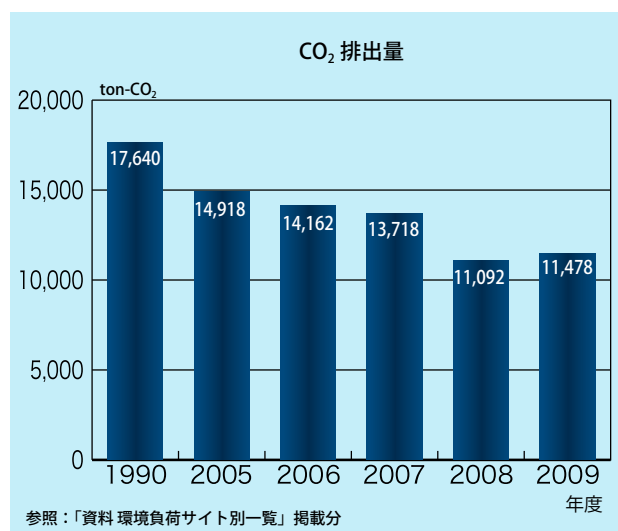
CO₂ 排出量を 1990 年 (京都議定書基準年) から 35%削減しました地球温暖化防止への取り組み (CO₂ 排出量削減)

当社グループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用による CO₂ の排出や物流による CO₂ の排出の削減を目的・目標に掲げ活動しています。

工場の統廃合により、2009 年度の CO₂ の排出量は京都議定書の基準年である 1990 年度に比べて、35% 削減されており、京都議定書の日本の目標値 6% 削減に対して当社は大幅な削減を達成しています。また、政府が掲げる 2020 年中期目標の 1990 年比 25% 削減をも上回って達成しています。

当社グループの工場では、ピアノ製造の竜洋工場と金属加工のカワイ精密金属 (株) 松本工場の 2 工場が第二種エネルギー指定管理工場に登録され、自主的に CO₂ 削減計画を策定し、CO₂ 削減に取り組んでいます。

また、オフィスにおいては、夏期には「ノーネクタイ」「ノー上着」活動を実施し、室内設定温度を上げるクールビズ運動も展開しています。

CO₂ の吸収活動 (植林活動) の推進

「森の中の緑の工房」

当社は、1980 年に「森の中の緑の工房」を目指し竜洋工場を建設しました。工場周辺や構内へ当初約 20,000 本の苗木の植林を行い、引き続き日々植林活動を行い、現在までに約 26,000 本の植林を行なってきました。工場周辺の木々は 30 年の歳月を経て、大きな樹木に生長し、「森の中の緑の工房」の名に相応しい工場となりました。この活動が評価され 2005 年緑化優良工場として (財) 日本緑化センター会長奨励賞を受賞致しました。



竜洋工場の樹木

海外植林活動

この精神を受け継ぎ、2007 年より、海外生産拠点のあるインドネシアにおいて、木材が伐採された土地に森林を再生すること、また将来の木材資源の育成を目指して当社グループ社員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。毎年 50ha の土地に 4 万本の植樹を行い、2011 年までの 5 年間に 250ha、20 万本の木を植樹する計画を遂行しています。

2009 年度の第 3 次植林では、新たに 75ha の土地に 45,000 本の苗木を植えました。現在、合計 125ha の土地 (東京ドーム約 27 個分) で 84,000 本の苗木が順調に成長しています。

当社試算では、インドネシアの「カワイの森」が完成しますと、年間 3,667 トンの CO₂ を吸収できると見込んでいます。

今後も、生物多様性の保全にも貢献する重要な活動として取り組んでまいります。

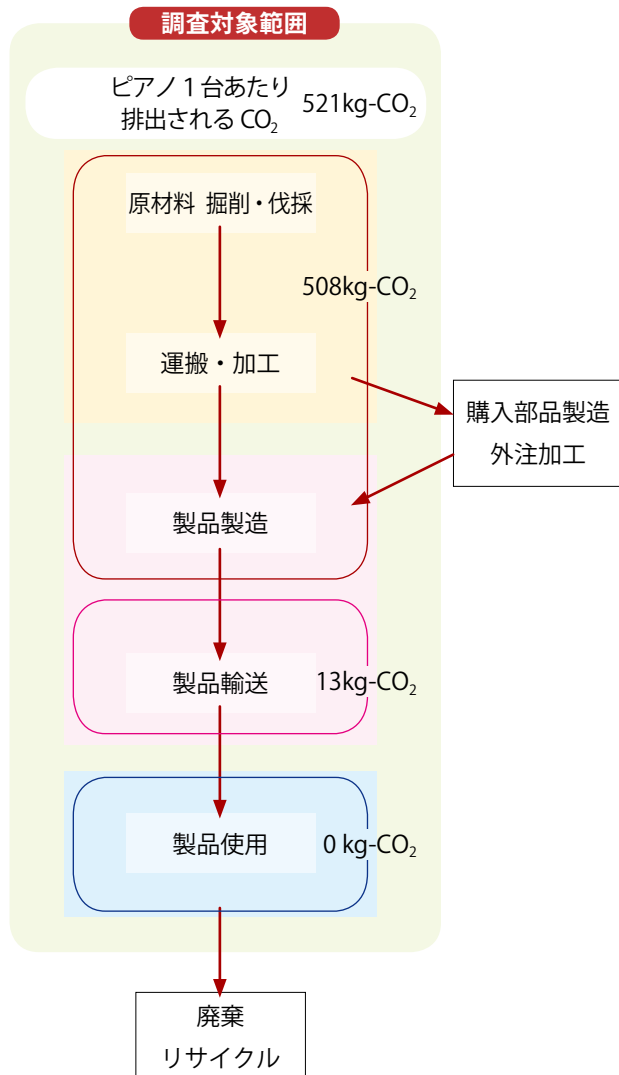


カワイの森植林風景

主な製品の LCA 評価と省エネ対策を進めています

主な製品の LCA(ライフサイクルアセスメント)の調査

当社の主な製品のグランドピアノ RX-3 を対象に、製品を作るための資源採取から部品や製品を作るために排出される CO₂ 量及び製品を使用し、廃棄されるまでに排出される CO₂ 量の調査 (LCA) を行いました。その結果、製品の製造段階で 508kg-CO₂ という排出量データが得られました。



LCA: Life Cycle Assessment の略。製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法

[LCA 評価方法]

* LCA 算定には、財団法人産業環境管理協会のライフサイクルアセスメント実施ソフト「JEMAI-LCA Pro」を用いました。

* 製品の廃棄について

ピアノの寿命は数十年のため算出から除外しました。

* 購入部品の加工製造及び外注先での加工・輸送については含まれていません。

* 製品輸送は磐田市(竜洋工場)→東京間を用いています。

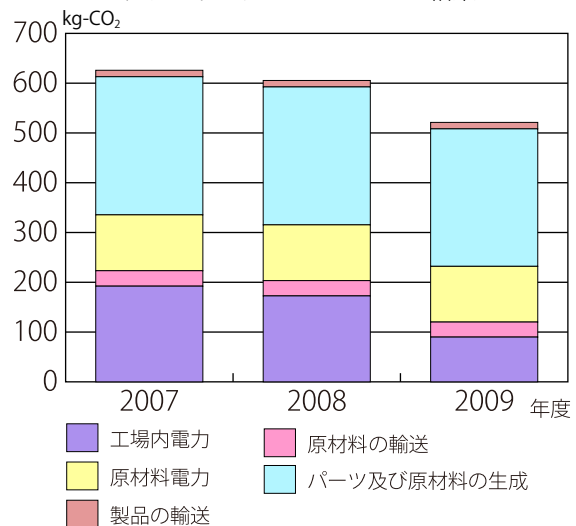
ピアノは、使用時の CO₂ の排出がありませんので、材料や部品、製品製造までの段階における CO₂ 排出量がほぼライフサイクル全体の CO₂ 排出量を占めています。

グランドピアノ 1 台が生涯に排出する CO₂ 量 521kg-CO₂ は、ガソリンの消費量に換算すると約 224 リットルに相当します。グランドピアノを 10 年間使用するとしますと、年間換算でガソリン 22 リットルの消費量、月に約 1.9 リットルの消費量に相当します。LCA からみますとピアノの CO₂ 排出量は製品重量に比較して少ないといえます。

今後さらなる CO₂ 排出量削減のため

- 工場の生産活動による CO₂ 削減の取り組み
 - 植林活動による CO₂ 吸収の取り組み
- を推進しています。

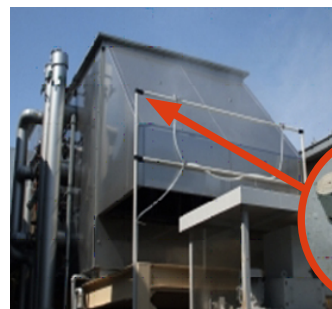
グランドピアノ RX-3 の LCA 結果



省エネ対策、エコアクション 21 の推進

(株) カワイハイパーウッドでは、エコアクション 21 認証を取得して、環境活動を推進しています。小集団活動(サン QC 活動)とあわせて不良率削減と省エネの取り組みを積極的に行っています。2007 年度より開始しました改善コンテストは年 3 回実施され、エコアクション 21 推進の一翼を担っています。

また、メルヘン楽器(株)は 2010 年 6 月にエコアクション 21 の認証を取得し、環境負荷低減の取り組みを積極的に展開しています。



エアコン室外機に水噴霧することによって、室内温度を低下し、電力削減も実現しました(株)カワイハイパーウッド)

資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減と再資源化

廃棄物の削減と徹底した分別回収による再資源化を図ることが重要な使命と認識し、活動しています。

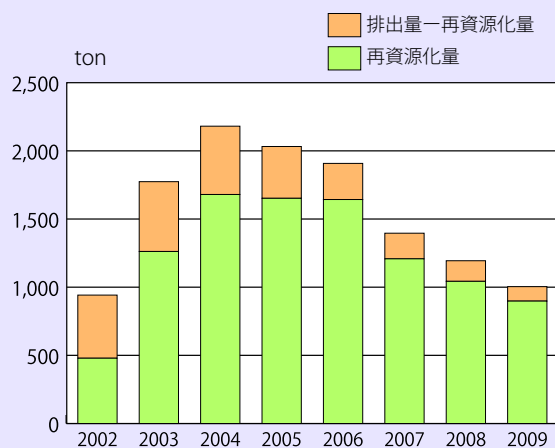
2003年度には、大気汚染の防止やダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に木くずボイラーを廃止したため、それまで燃料としてサーマルリサイクルされていた木くずや木粉が廃棄物扱いとなったため、廃棄物排出量が大幅に増加しました。

その後、廃棄物の削減に取り組んできた結果、2009年度はボイラー廃止以前の排出量に近い量にまで減少しました。

また、廃棄物のうち、木くず等は全て再資源化（製紙原料、ボード原料、堆肥用、燃料用 他）しています。

そのほかにも再資源化をすすめ、全体の再資源化率は89%となっています。

廃棄物排出量と再資源化量



	年度	2005	2006	2007	2008	2009
排出量	ton	2,032	1,902	1,396	1,194	1,004
再資源化量	ton	1,652	1,641	1,208	1,043	898
再資源化率	%	81%	86%	87%	87%	89%

リサイクル・リユースの取組

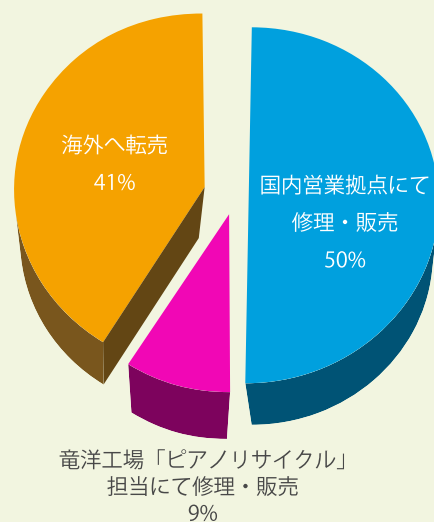
生産者拡大責任を踏まえて、循環型社会のためのピアノのリサイクル・リユース事業として(株)ピアノリサイクルを1998年に設立し、現在では当社竜洋工場仕上課が本事業を担当しています。当社の熟練技術者の手により、リユース向けピアノの再生に取組み、お客様のニーズにお応えしています。

ピアノは「もの」であるとともに「楽器」であり、お客様の様々な「感動」や「思い出」とともに歩んできました。そのような古くてもまだまだ価値のあるピアノが豊富な経験に裏付けされた高い技術力で塗装から組立、調律まで、見た目はもちろんメカニカルの修理も施され、まるで新品のように再生されます。

また、日本国内では各営業拠点においても、今では弾く人のなくなったピアノや使わなくなったピアノを再生し、新たなお客様のところへお届けしています。

2009年度には約1,300台のピアノがリサイクル・リユースされました。そのうち約4割が輸出され世界の各地で使われています。

ピアノにおけるリサイクル・リユースの取組状況
(2009年度)



持続可能な原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達

当社では必要な資源の調達・購入に際して、当社の定める地球環境委員会環境方針に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にグループ全体で積極的に取り組んでいます。



グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク（GPN）の基本原則に準じグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全への配慮や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

調達基準の共通事項として次のようなライフサイクルにおける環境配慮設計や取り組みを考慮しています。

- ・環境汚染物質への配慮 / 省資源 / 省エネルギー
- ・天然資源への配慮 / 長期使用性 / リユース可能性
- ・リサイクル可能性 / 再生材料等の利用
- ・処理処分の容易性

またサプライヤー選定時の配慮事項も次のように定め、購買部門よりお取引先に対対応をお願いしています。

- ・環境マネジメントシステムを構築し運用していること
- ・省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組がなされていること
- ・梱包材についても環境に配慮していること
- ・環境情報を積極的に公開していること

グリーン調達に関しては、このほかに調達基本方針や適用範囲、調達基準ガイドライン等を定めています。

またこのガイドラインに基づいて文具類等の調達ガイドラインも別に策定されています。

木材調達

ピアノの心臓部ともいわれる響板には厳選されたアラスカのスプリースが使われます。樹齢 150 ～ 400 年、高さが 60m にも達する針葉樹の大木です。ピアノの響板には地上 6 ～ 20m の部分で木目がまっすぐかつ「ふし」のない部分しか使えません。

高品質、貴重な木材を多く使用する楽器メーカーとして、木材を生み出す森林の保全、保護、育成は特に重要と考え生物多様性の保全に配慮して木材のグリーン調達に取り組んでいます。

木材調達ガイドライン（2006 年 6 月開示）

2006 年に持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

基本理念

カワイは、木を大切にし、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。



音環境を楽しむために

消音型グランドピアノ「ANYTIME(エニタイム)X」

消音型グランドピアノ「ANYTIME II」をモデルチェンジした「ANYTIME X」を発売しました。

ANYTIME シリーズ は、夜間など音を出せないときに、デジタル音源に切り替えて、ヘッドホンで演奏を楽しむことができる環境配慮型アコースティックピアノです。

グランドピアノ「ANYTIME X」では、ハンマーの動きを検出する新センサー「インテグレートッドハンマーセンシングシステム」をグランドピアノ用に新開発し、消音時においても、通常時と変わらない鍵盤のタッチ感を実現しました。

デジタル音源には、「88 鍵ステレオサンプリング」「ウルトラ・プログレッシブ・ハーモニック・イメージング」による優れたピアノ音を搭載しています。「響板スピーカーシステム」を搭載した ATX-f タイプでは、響板がデジタル音を増幅させることにより、アコースティック感のある響きが得られるとともに、音量調節が可能となっています。

— 製品の特長 —

- 1) グランドピアノ用に新開発した「インテグレートッドハンマーセンシングシステム」採用
- 2) グランドピアノにふさわしい、高品位デジタル音源
- 3) ヘッドホンなしで、電子音の再生・音量調節が可能な「響板スピーカーシステム」搭載 (ATX-f)
- 4) 操作性・視認性に優れた「スライド式スイッチパネル」採用
- 5) 音色数 22、最大同時発音数 192 音、レコーダー機能強化などデジタル音源の特性を生かした機能も充実



<カワイのハイブリッド製品>

世界一のピアノづくりをめざして、培ってきたノウハウ。

奏でる喜びをたくさんの人に伝えるため、進化させてきたデジタル技術。

その両方を追求するカワイだからこそ、できることがあります。

当社では、両方の技術を融合させて開発された新しいハイブリッド製品には、このマークを製品・カタログ等に表示します。



カワイ防音ルーム「ナサール」

『ユニット・スーパーカスタム』『ユニット・ライト』を追加

カワイ防音ルーム「ナサール」は、音響性能と居住性の両立を図った、より良い音環境を楽しむ空間として、楽器用防音室にとどまらず書斎や AV ルームとしても、ご利用いただいています。さらに特注対応として、スタジオ、カラオケボックス、製品検査室等の様々な用途にもお使いいただいています。今回新たに次の 2 モデルを追加しました。

◆ ユニット・スーパーカスタム



— 製品の特長 —

- 1) オーダーメイド感覚のサイズ変更をユニットタイプで実現
- 2) マンションの柱などに対応した変形加工が可能
- 3) 開放感のある空間をオーダーメイドで選ぶことができます
- 4) 設置条件を 10 畳まで拡大

◆ ユニット・ライト



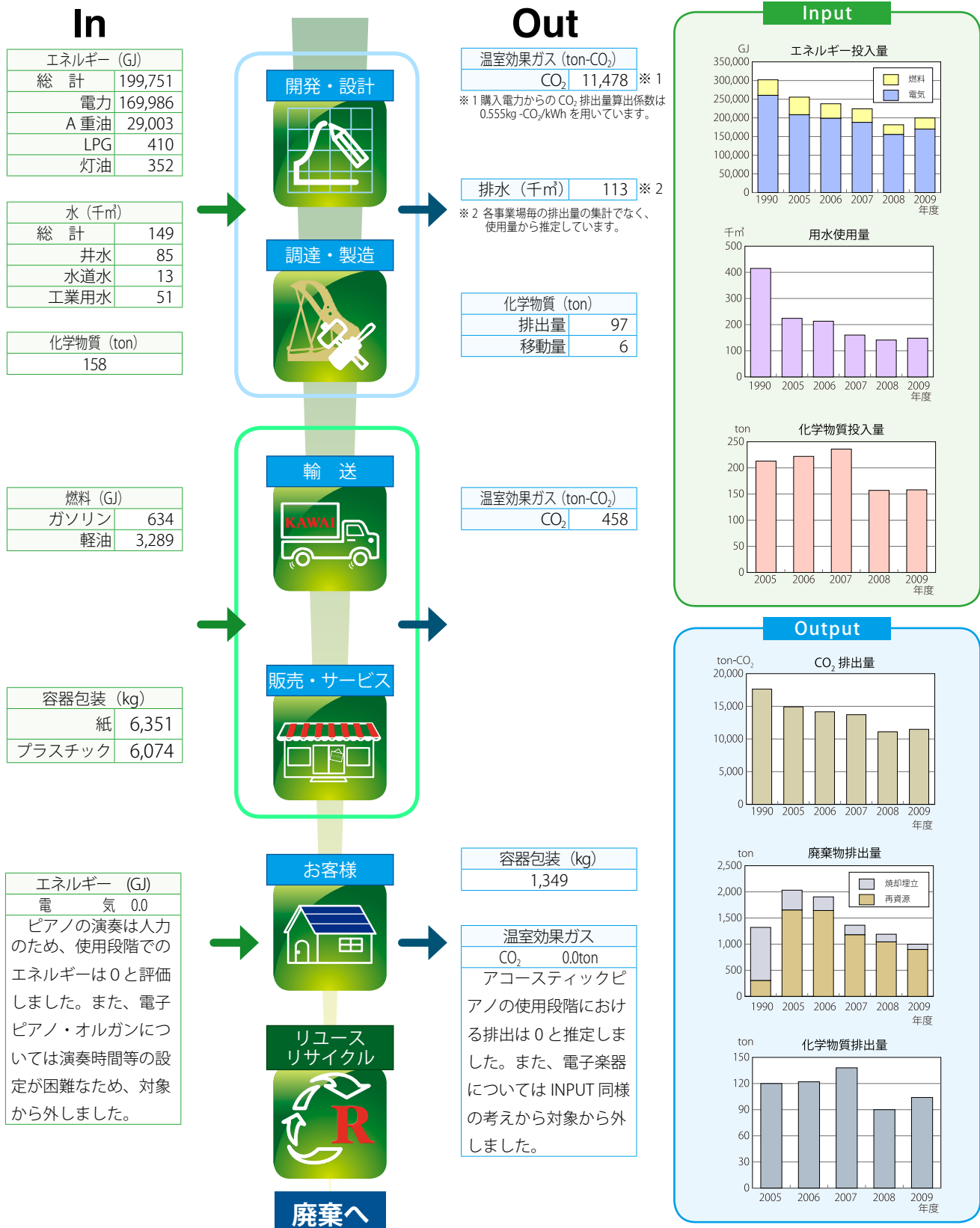
— 製品の特長 —

- 1) 防音性能は、従来シリーズそのままのお手頃価格
- 2) アップライトピアノ用にピッタリの新サイズ
- 3) サイズを限定し、納期短縮を実現

カワイグループは、企業活動が環境に及ぼす影響を認識し、事業が環境に与える負荷を数値で把握することが活動の第一歩と考えております

カワイでは、事業活動に伴って発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階でどれくらいの資源・エネルギーを使用しているか、またどのような環境負荷が発生しているか（マテリアルバランス）についてデータ集計を行なっております。2009年度におけるエネルギー、化学物質、資源などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。

今後もデータ把握の対象事業を広げ環境負荷の低減に取り組みます。



第3次中期経営計画(2011年3月期～2013年3月期)の概要

第3次中期経営計画

(2011年3月期～2013年3月期)

第3次中期経営計画では、長期的に会社のめざす方向性を明確にし、将来を見据えた事業基盤づくりを行うとともに、持続的成長のための構造改革に取り組んでまいります。

1. 計画期間

2010年4月1日～2013年3月31日

2. 長期ビジョン

- ・限りある資源を有効活用し、地球にやさしいものづくりをめざす
- ・幼児から高齢者まで、心の豊かさとの健康づくりを支援
- ・グローバルブランドの確立をめざす

3. 基本方針

- (1) 成長市場へ向けたチャレンジ
 - ・成長する中国市場に対し、当社総合力を発揮
 - ・高齢化社会に向けた健康増進事業の拡大
 - ・自動車C V T向け金属加工など環境対策関連部品加工の拡大
- (2) 基盤事業の構造改革による収益性向上
 - ・楽器国内販売の構造改革
 - ・楽器生産体制の全体最適化
 - ・教育ソフトの充実と、教育・サービス事業の効率化

4. 7つの重点戦略

当計画を遂行するため、下記7項目について重点的に取り組んでまいります。

- (1) グローバルブランドの確立

高付加価値モデルを世界市場で拡販し、ブランド力向上のための基盤を整備。

 - ① Shigeru Kawai シリーズの拡販
 - ② ピアノづくりの将来を見据えた生産・開発体制を整備
- (2) 中国市場で総合力を発揮

成長が続く中国市場で、需要創造から生産、販売、サービス体制の強化を図る。

 - ① 強いブランド力を背景に、学校販売を強化
 - ② 普及価格帯モデルを増やし、幅広い層へ拡販
 - ③ 都市部を中心に音楽教室展開を加速
 - ④ アフターサービス体制の充実を図る
- (3) 国内市場の効率的販売体制構築

都市部へ資源を集中し、市場縮小に対応した販売体制を構築。

 - ① 店舗を核とした販売活動を展開
 - ② 音楽教室との相乗効果を生かした販売の効率化
 - ③ IT (CRM・インターネット等) の効果的活用を図る

(4) ピアノ世界販売の拡大

市場別販売・製品戦略を策定し、ピアノ販売の拡大をめざす。

- ① 成熟市場での販売量回復
- ② 成長市場での量的拡大
- ③ 新興市場の開拓強化

(5) さらに魅力ある音楽教室をめざす

都市部人口集中エリアへ音楽教室を新設し、生徒数を増加。

- ① 都市部を中心とした教室新設
- ② 魅力ある音楽教育システムの構築

(6) 全年齢の健康づくり支援事業拡大

全年齢層に向けた健康増進事業を、全国市町村を対象に推進。

- ① 介護予防事業の拡大
- ② 特定保健指導事業の推進
- ③ カワイ体育教室のコース新設・拡充

(7) 金属事業の生産体制強化

市場拡大が見込める環境関連部品金属加工の生産体制をさらに強化。

- ① 浜松新工場の投資効果を発揮
- ② QCDの向上により、技術競争力を確保
- ③ 半導体・自動車に次ぐ第3の柱を構築

5. 業績目標

(単位：百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
売上高	59,000	62,000	64,000
営業利益	1,700	2,300	2,500
経常利益	1,500	2,100	2,400
当期純利益	800	1,000	1,200

第3次中期経営計画の説明資料は下記の画像をクリックすることでご覧いただけます。

継続的に企業価値を高めていくには、 コーポレート・ガバナンスの充実が最も重要な経営課題と捉えています

コーポレート・ガバナンスの状況

当社は継続的に企業価値を高めていくうえで、コーポレート・ガバナンスの充実が最も重要な経営課題であると捉え、その取組のためには株主・投資家の皆様、お客様、取引先、地域社会、従業員等の当社を取り巻く様々なステークホルダーから信頼される経営姿勢が重要であるとと考えています。

その実現に向け、当社では株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機能に加え、経営体制の改革、コンプライアンス体制や内部統制システムの整備等の様々な方策を実現させるとともにタイムリーな情報開示により公正で透明性の高い経営体制の実現を目指しています。

内部統制システム整備の状況

2006年5月に取締役会にて「内部統制システムの構築に関する基本方針」を決議し、内部統制システムの整備を推進しています。

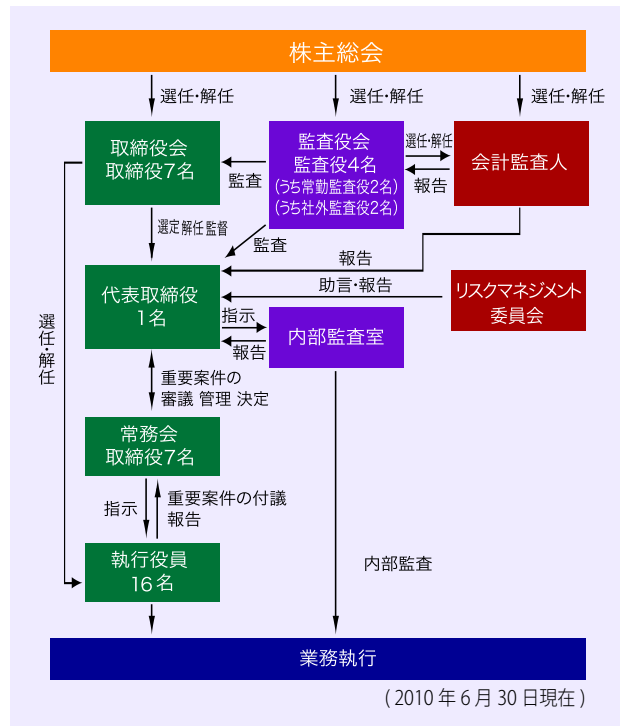
当社は内部統制の基本を職務分掌、職務権限、業務プロセス、その他の各種規程・基準においています。内部監査部門は業務執行部門ならびに関係会社の監査を通じてこれらの基本に則って業務が遂行されていることを確認し、改善すべき点の指摘を行っています。また、法律問題については、分野ごとに恒常的に法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

反社会的勢力排除に向けて

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要です。

このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するためにもコンプライアンス体制及び内部統制システムの整備に努めています。

コンプライアンス体制・内部統制システム



- ・取締役会：7名で構成（社外取締役は0）
- ・監査役会：社外監査役2名を含む4名で構成
- ・2002年4月より執行役員制度を採用（現在16名）
- ・2005年6月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。
- ・経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・内部監査：「内部監査室」を設置し、当社グループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の順守状況についての監査を行っています。



リスク管理体制

当社のリスク管理体制は、業務執行にともなうリスクを未然に防止し、またリスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じカワイグループ全体を対象とした委員会を設置するなど、機動的な対応に努めています。

リスクマネジメント委員会

カワイグループ全体のリスクへの対応のための組織として、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に代表取締役役に報告します。傘下に下記の委員会を設置しています。また、不測の事態が発生した場合には「緊急対策本部」を直ちに設置し、迅速な対応と損害拡大の防止にあたります。

地球環境委員会

カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会ではカワイ地球環境憲章、カワイ環境方針、グリーン調達ガイドライン、木材調達ガイドライン等を制定。また環境に関する法令の順守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。

海外安全対策委員会

海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。

中央防災対策委員会

カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。

中央安全衛生委員会

カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。

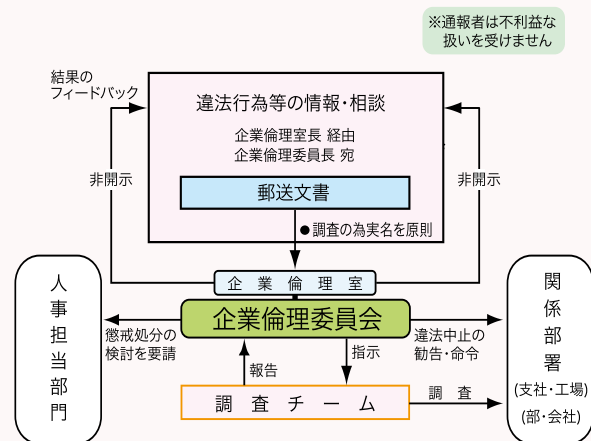
情報セキュリティ委員会

情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。

企業倫理委員会

コンプライアンス経営を推進するため、法令順守に加え社会的な規範をも包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動規準を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。

企業倫理委員会・企業倫理ホットラインの流れ



製品安全対策委員会

万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があると思われる場合には、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。

株主・投資家の皆様への IR 活動に取り組んでいます

決算説明会

2010 年 5 月 20 日、東京 カワイ表参道にて、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催いたしました。連結業績の概要を説明するとともに、2010 年 4 月より始まっている第 3 次中期経営計画についての説明も行い、当社の事業展開について、ご理解いただきました。

同説明会で使用した資料は、ホームページにて公開しております。下記画像をクリックしてご覧ください。

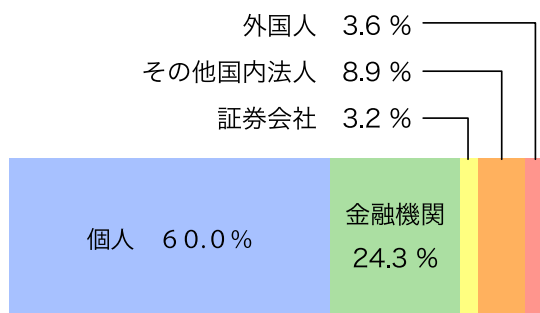
定時株主総会

2010 年 6 月 29 日、当社本社にて第 83 期定時株主総会を開催いたしました。2009 年より、事業報告において、プロジェクトとナレーションによる説明を採用し、グラフや写真を使ってわかりやすくご覧いただけるようにいたしました。

当日お越しいただいた株主の皆様より活発にご意見ご質問をいただき、当社の業績や事業展開について、より深くご理解いただきました。



株主の所有者別状況 (2010 年 3 月 31 日現在)



事業報告書

株主の皆様には、事業報告書を年 2 回お送りしています。直近の財務情報に加え、トップのコミットメントや当期のトピックス、会社概況などをお伝えしています。



株式の発行状況

発行可能株式総数	普通株式	342 百万株
発行済株式総数	普通株式	86 百万株
株主総数	普通株式	11,469 名

情報の開示

IR サイト

IR：Investor Relations の略。企業による投資家向けの情報提供などの広報活動。

ステークホルダーの皆様にかわいの経営戦略や財務内容を開示し適切な企業価値へと結びつける活動（IR 活動）の手段として当社ホームページに IR サイトを開設しています。（<http://www.kawai.co.jp/ir/>）



音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動します

社会貢献活動

より広く、より深く音楽文化を醸成するために、カワイは楽器メーカーとして優れたハードづくりを追求するとともに音楽文化の育成やレベルアップといったソフトに関する活動を長年続けています。

文化・芸術への貢献

カワイ音楽振興会
カワイコンサート
ヨーロッパ・カワイコンサート
日本ショパン協会への支援
クロイツァー記念会への支援
日本・ロシア音楽家協会への支援
日本フーゴ・ヴォルフ協会への支援
日本シマノフスキ協会への支援 など

カワイ音楽振興会

日本の音楽文化の普及と向上を目指して 1963 年に設立。海外の著名な演奏家、教育指導者を数多く招聘し、リサイタルを開催するほか、公開講座、個人レッスン、講演会など多彩な催しを企画実施しています。

連絡先：カワイ音楽振興会 TEL:03-3320-1671

カワイコンサート

日本中の多くの方々によりよい生の音楽を。このポリシーのもと、1971 年からスタートした「カワイコンサート」は全国各地で 2 千数百回以上におよぶ公演を行っています。



ヨーロッパ・カワイコンサート

1991 年に始まったヨーロッパ・カワイコンサートは、ドイツのクレフェルト市キャンパスホールで行われています。2006 年には 200 回を数え、今後も引き続きコンサートを開催してまいります。

日本ショパン協会への支援

ポーランドのショパン協会との交流の下に設立された日本ショパン協会の活動を多角的に支援。音楽交流、ショパン国際ピアノコンクールへの審査員派遣、参加者オーディション等の活動を行っています。

教育・教室としての貢献

カワイ音楽教室
カワイミュージックスクール
カワイ英語教室・カワイ絵画造形教室
カワイ体育教室 など

カワイ音楽教室



当社が運営するカワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して 1956 年（昭和 31 年）に第 1 号教室を開設、以来 50 年にわたり、音楽教育を通じて多数の音楽愛好者を育成し、現在では日本全国に 4,000 を超える直営の教室を運営しています。レッスンコースは、1 歳児を対象とした「クーちゃんランド」に始まり、「おとなのミュージックスクール」まで、年齢やレベルに合わせて多彩なコースが設定されています。

カワイミュージックスクール



平均寿命の伸長に伴い、中高年の人々の生涯学習や余暇活動に対する関心が年々高まっています。カワイでは、こうした社会ニーズに対応し、ピアノ、フルート、バイオリン、大正琴、日本唱歌など、40 種以上に及ぶ大人のための音楽教室を運営しています。いずれも自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講でき、またレッスンの回数や形式が選択できるなど、個性に合ったレッスンが受けられることから、多くの受講者を集めています。

カワイ英語教室

～「生きた英語を体験しよう」～



カワイ英語教室は、ゲームやアクションを通して、子どもたちが楽しみながら「生きた英語」を身に付けます。そしてコミュニケーションの手段としての英語を通して自分を伝えたい、相手を知りたいという心を満たし、豊かな人間性を育みます。

カワイ絵画造形教室

～手を使い、心と頭を育てる造形活動～



カワイ絵画造形教室は、豊富な素材をふんだんに使ったさまざまな造形表現活動を通して、子どもたちが創造力や人間らしい心を育みながら「生きる力」を身につけていくことを目指しています。

「心とからだのハーモニー」をモットーに、 全年齢の健康づくりをサポートします

カワイ健康づくりシステム

少子高齢化・人口減少時代を迎え、健康づくりの重要性はますます高まっています。

人の健康を預かる企業・行政・民間スポーツクラブ等においても取り組みは進んでいますが、健康づくりシステムも日々専門化しており、自ら情報を収集し、システムを構築する時代ではなくなってきました。

カワイ体育教室開設以来40年以上のキャリアを持つカワイならではのノウハウにより、子どもから、大人・高齢者までそれぞれのステージに合わせた健康づくりをサポートします。

◆全年齢の健康づくりをサポートします



体育コース

幼児から児童を対象に、自ら進んで運動に取り組み、運動する楽しさと能力を身につけるコースです。

運動あそび活動を通して子どもたちの、心とからだの調和をはかり、豊かな人生を歩む基礎を育てます。そのために、走ったり、跳んだり、器具を操作したりなど偏りのない運動を体験します。



スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。

技術を身につけられるよう一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。



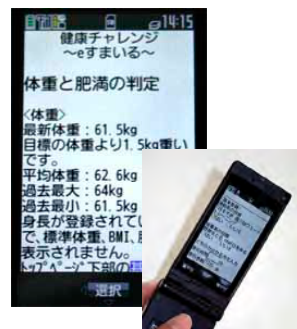
特定保健指導の支援

厚生労働省が医療費対策として特定保健指導を義務化する中で提示した、進め方の指針に沿った内容となっています。

特定保健指導の対象は40歳～74歳ですが、カワイは若年者のメタボ対策も指導します。

モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性機能」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理を快適にサポートします。日常の健康づくりを支援しメタボリックシンドロームの改善に最適です。



介護予防事業の支援

厚生労働省の指針に沿った栄養・運動・口腔をトータルに支援します。

介護保険法の改訂に伴い多くの市町村で地域支援事業として介護予防への取り組みが強化されています。カワイは一般高齢者や特定高齢者を対象とした介護予防事業の支援をいたします。

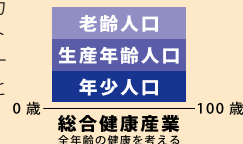


カワイヘルスプロモーションサポートシステム

カワイは、体育教室をはじめとした健康づくりのサポートを全国で展開してから40年以上の歴史があります。

このキャリアとノウハウを、社会に広く公開・提供したいと考えています。

未就園児から高齢者まで、楽しみながら健康の維持・促進を図り、しかも測定データや最新機器を駆使し科学的にサポートする独自のシステム、それが「カワイヘルスプロモーションサポートシステム」です。さまざまなステージでの、健康づくりに役立ちたいと考えています。



地域社会の発展と環境の向上に役立つ活動を積極的に推進しています

カワイグループでは、それぞれのサイトにおいて、積極的に地域社会の発展と環境の向上を目指して、地域社会への貢献活動と交流活動を行っています。

工場見学の受入

地域の小学生・中学生・高校生や次世代の音楽文化を担う学生さんたち、その他多くの皆様にカワイのピアノに親しんでいただくために、竜洋工場では工場見学を受入れております。カワイピアノが完成するまでの組立から仕上げの工程をご覧くださいことができます。

2009 年度の見学者数は、4,195 名でした。

小学生をはじめ、多くの方々から見学後にあたたかい感想文のつづりを送っていただきました。



手作りの感想文にはたくさんのメッセージがつまっています



小・中学生だけではなく、一般の方からのお手紙もいただきます

環境美化・保全活動

地域社会とのつながりを大切にしたいと考え、環境方針に基づいた環境活動として敷地内のみならず、工場周辺の主要道路の清掃活動などを通じて地域の美化・環境保全に積極的に取組んでいます。

竜洋工場



工場周辺の普段、気にならないようなところにも目が向きます

メルヘン楽器(株)



工場の周辺の清掃も行いました

カワイ精密金属(株)



← 松本工場の清掃活動
↓ 浜松工場 KAWAIのマークがくっきりしました



各サイトそれぞれにおいて、地域社会へ参画しています

積極的に地域住民及び多くのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図っています

地域との交流

(株)カワイハイパーウッド 「ふれあいコンサート」

(株)カワイハイパーウッドでは、地元住民の方をお招きし、工場で生産している商品を紹介するとともに工場内の特設会場でコンサートを毎年開催しています。



2009年度は、新進気鋭のピアニスト米津真浩さんのピアノ演奏をメインに、ジャズの演奏やサックスのソロ演奏など、バラエティに富んだコンサートを開催しました。

また、2009年9月に発生したスマトラ島沖地震の被災者支援として募金活動を行い、おかげさまで総額127,000円の義援金が集まりました。

米津真浩さんのコンサート



「カワイの森」を通じた活動

「カワイの森」は、カワイインドネシア、森林公社プルワカルタ、およびマルガサルユ森林村市民組織の共同活動で、植林活動が行われ、管理されています。



植林する場所は、インドネシア ジャワ島のカラワン県西トゥルクジャンベ郡マルガカユ村の丘陵地です。



細い苗木をただ植えるだけでは育ちませんので、森林公社や地元の方々と協働して丁寧な手入れを行うことによって、順調に育っています。

こうした管理のおかげで、2007年に行った第1次植林で植えられたアルバシア・ファルカタの苗木は、太さ15～20cm、高さ3mにまで成長しました。



↓ 植林風景



多くの皆様とのコミュニケーションを大切にします

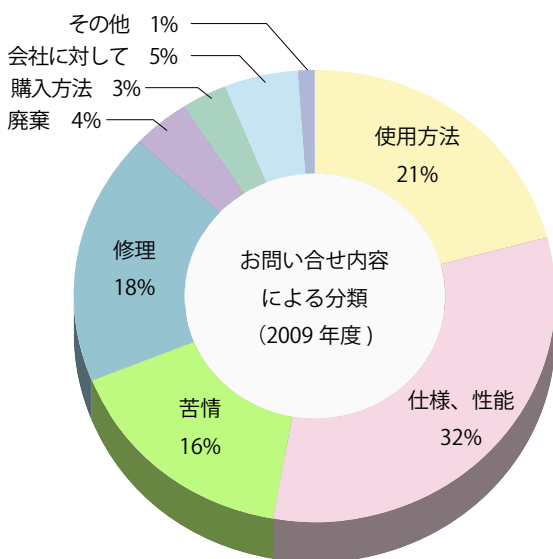
CS の取り組み

CS：Customer Satisfaction(顧客満足)の略

お客様の相談窓口をカワイ QSS(Quick Service Station)と名づけ、誠実な対応と迅速な対応を行うべく 1971 年よりその組織を発足させ充実を図っています。

カワイ QSS は生産統括部 CS 推進室に本部を置き、支部を各支社に配置し、製品の使用方法など、お客様からの様々な相談などの受付を行っています。

CS 推進室（お客様相談室）TEL：053－457－1311



アフターサービスの実施

「ピアノは生きています」というと驚かれるでしょうが、ピアノには木材・羊毛・皮革など多くの天然素材が使われています。これらの材料はとても敏感で、温度や湿度の影響をまともに受けてしまうのです。ピアノの大部分を占める木材やハンマーのフェルトは常に呼吸をしている、まさに“生命体”であり、ピアノは大変デリケートなメカニズムを持つ楽器でもあります。

そこで私達が健康管理をするようにピアノにも“調律”という名のメディカルチェックが必要なのです。

カワイの調律師たちは厳しい訓練を受けた技術者で、ピアノの主治医として、ピアノを常にベストコンディションに保つためのケアをしています。

調律サービス部 TEL：053－457－1256

環境社会報告書のホームページによる開示

カワイのホームページのトップページの「会社情報」から、「環境への取り組み」に進んでいただくと、過去の環境報告書もご覧いただけます。

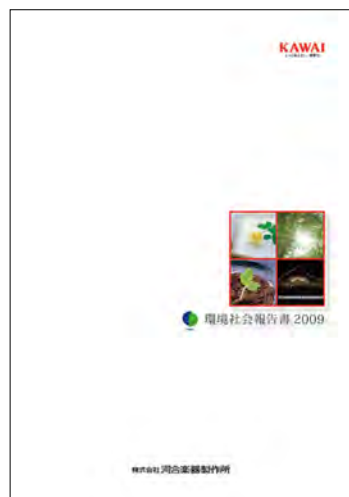
<http://www.kawai.co.jp>



環境社会報告書の継続的発行

カワイでは 2001 年より毎年、「環境報告書」を発行し、2004 年からは社会的側面についても記載し、「環境社会報告書」を発行しています。

多くの皆様に持続可能な社会の実現に向けたカワイの活動を知っていただくよう今後も情報提供を続けてまいります。



			1990	2005	2006	2007	2008	2009	増減率	
			参考	基準年					基準年比	
竜洋工場 静岡県磐田市 (旧舞阪工場を含む) 事業内容：ピアノ製造 敷地面積 168,218㎡	INPUT	電気	GJ	101,341	86,302	82,875	67,564	61,328	57,359	-30.8%
		燃料	GJ	28,253	30,830	25,176	21,067	16,447	17,501	-30.5%
		水	千㎡	3,330	73.7	68.3	46.3	35.9	36.0	-47.3%
		化学物質	ton	0	70.4	61.5	58.6	47.0	26.3	-57.2%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	6,982	6,392	5,250	4,576	4,429	-30.7%
		化学物質	ton	0.0	27.5	19.6	21.3	12.3	11.0	-43.8%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	102.6	100.1	52.7	50.4	26.0	-74.0%
		廃棄物 再資源化	ton	102.0	1,360.2	1,234.7	876.7	811.0	691.3	-44.0%

(株) カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中郡町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡	INPUT	電気	GJ	14,787	24,003	21,629	21,726	14,636	15,141	-30.0%
		燃料	GJ	11	7,725	6,219	6,960	4,189	4,704	-24.4%
		水	千㎡	28.6	14.7	10.6	10.1	5.7	5.3	-50.0%
		化学物質	ton		58.7	47.6	50.6	24.4	26.9	-43.5%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	1,883	1,645	1,702	1,111	1,170	-28.9%
		化学物質	ton		16.2	12.1	14.1	7.3	8.6	-28.7%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	188.7	78.5	81.6	58.9	44.9	-42.8%
		廃棄物 再資源化	ton	32.3	47.2	116.9	101.8	63.7	77.3	-33.9%

メルヘン楽器 (株) 静岡県周智郡森町 事業内容：電子楽器製造 敷地面積：11,583㎡	INPUT	電気	GJ	3,914	3,397	3,299	3,251	2,949	2,210	-33.0%
		燃料	GJ	74.7	14.7	11.1	11.3	10.7	9.5	-14.4%
		水	千㎡	0.6	2.7	3.0	2.7	3.4	2.9	-4.0%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	223	190	184	182	165	124	-32.6%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton	7.3	4.0	11.2	5.3	3.0	1.6	-85.7%
		廃棄物 再資源化	ton	0.0	75.3	114.5	63.9	39.7	7.6	-93.4%

(株) カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡	INPUT	電気	GJ						1,067	—
		燃料	GJ						0.0	—
		水	千㎡					2008 年	0.0	—
		化学物質	ton					より稼働		—
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂						59	—
		化学物質	ton							—
		廃棄物 焼却・埋立	ton						0.0	—
		廃棄物 再資源化	ton						2.9	—

カワイ精密金属 (株) 浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡	INPUT	電気	GJ		34,274	38,671	38,528	34,412	37,622	-2.7%
		燃料	GJ		12.6	14.1	12.8	11.6	11.1	-21.3%
		水	千㎡	1994 年	21.4	20.5	17.8	17.9	18.7	-8.8%
		化学物質	ton	より稼働	31.8	56.7	49.7	34.0	32.3	-43.0%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		1,909	2,154	2,145	1,916	2,095	-2.7%
		化学物質	ton		26.0	52.6	44.0	32.0	31.0	-41.1%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		66.4	54.3	27.8	22.6	18.5	-65.9%
		廃棄物 再資源化	ton		42.5	39.1	32.5	20.6	32.4	-17.1%

カワイ精密金属(株) 松本工場 長野県松本市 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡	INPUT	電気	GJ	57,070	47,565	48,784	56,882	42,102	45,411	-6.9%
		燃料	GJ	7,132	6,359	6,350	7,350	4,744	7,526	18.5%
		水	千㎡	42.1	98.9	100.3	74.6	70.8	78.5	-21.7%
		化学物質	ton		52.5	55.8	77.4	52.0	72.9	30.6%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	3,097	3,165	3,686	2,679	3,060	-3.3%
		化学物質	ton		39.3	40.5	58.8	38.0	52.9	30.6%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		9.9	12.1	16.9	12.0	10.5	-13.2%
		廃棄物 再資源化	ton		79.8	93.7	100.4	77.9	61.4	-34.5%

本 社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡	INPUT	電気	GJ		10,032	9,781	12,096	10,834	9,620	-1.6%
		燃料	GJ		1,858	1,215	1,227	646	105	-91.4%
		水	千㎡		12.3	9.7	8.7	7.8	7.4	-23.7%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		682	623	752	644	541	-13.2%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	ton		45.6	42.2	32.9	30.2	24.9	-41.0%

環境法規制 順守状況

順法への対応において ISO マネジメントシステム、エコアクション 2.1 を採用している事業場については順法評価結果を内部監査にて確認しています。その他の事業場の順守確認は環境推進室が実施しています。

また環境に関する法規制の訴訟・罰金・科料はありませんでした。

第三者意見

本報告書には、カワイグループの事業活動にともなう環境配慮、社会的責任に対する取り組みがまとめられており、それぞれの項目毎に短いタイトルで要約が付されていること、また、行間があいて読みやすく、図や写真も効果的に配置されていることから、わかりやすい報告書の体裁が工夫されている。

環境経営の項目では CO₂ 排出量、および廃棄物量の削減が、当初目標をはるかに上回る高い達成度となっていることが示されている。特に廃棄物量は再資源化を推進することの効果が大きく表れている。また、エコアクション 21 の活動にも積極的に取り組んで原料の歩留まり向上、製品の不良削減だけでなく、エアコン室外機に水を噴霧する工夫で、電力消費量の削減を可能にしている。また、海外植林活動においては、2009 年までにすでに 125ha、84,000 本以上の大きな実績があり、今後も着実に植林を進めていく計画が紹介されている。なお、海外植林活動は CO₂ 吸収に対する期待のみならず、生物多様性保全の視点からも重要な活動として位置付けており、木材の利用と関わりの深い企業としての環境に対する特段の配慮が示されている。さらに、海外植林活動は地域社会との共生をめざした取り組みとしてもなっていることが記載されている。



東京工業大学大学院
理工学研究科 教授
中崎 清彦 氏

経営計画については第 3 次中期経営計画が記載されており、会社の目ざす方向性が明確に示されている。また企業の経営を監視・規律する仕組みを構築し、それを充実させる具体的な取り組みが概説されている。

以上のように、本報告書は環境社会報告書として優れた内容のものとなっている。カワイグループの環境社会報告書は長い継続を経て、次第に進化し、内容もますます充実してきているのみならず、意欲的な取り組みを、よりわかりやすいかたちで報告することを実践してきている。今後も一層の取り組みの進展が期待される。

第三者意見をいただいて

昨年度に続き、中崎清彦東京工業大学教授から第三者意見をいただくことができましたことを御礼申し上げます。

この中で、とくに、CO₂ 排出量と廃棄物の削減、海外植林活動といった長年当社が取り組んでいます環境負荷低減の取り組みについて評価をいただいたことは、大きな喜びであります。

今後も継続して、環境に配慮した事業活動と事業活動の社会性に関する多様な取り組みを着実に進展させるとともに、環境社会報告書につきましてはステークホルダーの皆様によりわかりやすくお伝えするよう内容の充実に努めてまいります。



最後までお読みいただきましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、この頁をFAXまたは郵送して頂ければ幸いです。

カワイ 環境社会報告書 2010 へのご意見・ご感想

該当項目の□にチェックをお願いします。

Q 1 環境社会報告書をどのようなお立場でお読みになりましたか？

- | | | |
|------------------------------------|---|---|
| ☐ 投資家・株主として | ☐ 河合楽器と取引関係にある | ☐ カワイグループの従業員・家族 |
| ☐ 政府・行政機関 | ☐ 環境 NGO・NPO として | ☐ 報道機関 |
| ☐ 企業の環境担当者 | ☐ 学生 | ☐ 環境専門家・教育者・研究者 |
| ☐ 事業所近隣の方 | ☐ 製品のユーザー | ☐ その他（ ） |

Q 2 環境社会報告書を何でお知りになりましたか？

- | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------------------|
| ☐ ホームページ（当社・当社以外） | ☐ 環境セミナー等で | ☐ 新聞・雑誌 |
| ☐ 営業マン・教室・先生から | ☐ その他（ ） | |

Q 3 この環境社会報告書をお読みになってどのようにお感じになりましたか？

- | | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| ・報告書のわかりやすさ | ☐ よくわかる | ☐ 普通 | ☐ わかりにくい |
| ・内容 | ☐ 充実 | ☐ 普通 | ☐ 物足りない |
| ・情報量 | ☐ 多すぎる | ☐ 適切 | ☐ 不足である |

Q 4 興味をもたれた記事、印象に残った項目は？（いくつでも）

- | | |
|---|---|
| ☐ 表紙 | ☒ 社会性報告 |
| | ☐ 経営計画 |
| ☐ カワイグループの事業と会社の概況 | ☐ コーポレート・ガバナンス |
| ☐ 編集方針 | ☐ 株主・投資家の皆様とともに |
| ☐ 社長コミットメント | ☐ お客様との関係 |
| ☐ カワイの経営の理念・行動指針 | ☐ 社会貢献活動 |
| ☐ カワイグループのあゆみ | ☐ コミュニケーション |
| | ☐ 地域社会との共生 |
| ☒ 環境報告 | ☐ 情報発信 |
| ☐ カワイの環境への取り組み | |
| ☐ 地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織 | ☒ 資料編 |
| ☐ 環境経営 | ☐ 環境負荷サイト別一覧 |
| ☐ 2009 年度の環境目標と実績 | |
| ☐ 事業活動にともなう環境配慮 | ☐ 第三者意見書 |
| ☐ 地球温暖化の防止 | |
| ☐ 廃棄物削減・再資源化 | |
| ☐ グリーン調達 | |
| ☐ 環境配慮製品 | |
| ☐ 環境パフォーマンス | |
| ☐ マテリアルバランス | |

Q 5 環境社会報告書の内容についてのご意見や、改善するためのご提言をいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄にご記入願います。
（個人情報に関しましては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません）

お名前	ふりがな		
	男・女	年齢	歳
ご住所 (勤務先・ご自宅)	〒 —		
ご連絡先	TEL E-mail	FAX	
ご職業 (勤務先・部署・役職名)			

FAX 053-457-1250

〒 430-8665 浜松市中区寺島町 200 番地 株式会社 河合楽器製作所 生産統括部 環境推進室 行

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。

株式会社 河合楽器製作所

お問合せ先

河合楽器地球環境委員会

事務局：生産統括部 環境推進室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地

TEL 053-457-1252 FAX 053-457-1250

URL：<http://www.kawai.co.jp>